

令和元年度

第3回目黒区総合教育会議

会議録

(令和2年3月3日開催)

令和元年度第3回目黒区総合教育会議会議録

- 1 開催年月日 令和2年3月3日
- 2 開催場所 総合庁舎6階教育委員会室
- 3 出席者 目黒区長 青木英二
教育委員会教育長 関根義孝
教育委員会教育長職務代行者 櫻井道雄
教育委員会委員 後藤幸子
教育委員会委員 笹尾敦夫
教育委員会委員 松村眞理子
- 4 出席説明者 企画経営部長 荒牧広志
総務部長 本橋信也
危機管理室長 谷合祐之
文化・スポーツ部長 竹内聡子
子育て支援部長 長崎隆彦
教育次長 秋丸俊彦
政策企画課長 田中健二
広報課長 酒井圭子
教育政策課長（学校統合推進課長兼務） 山野井司
学校ICT課長 今村茂範
学校運営課長 濱下正樹
学校施設計画課長 鹿戸健太
教育指導課長 竹花仁志
統括指導主事 寺尾千英
統括指導主事 片山順也
教育支援課長 酒井宏
生涯学習課長 千葉富美子
- 5 傍聴者 なし
- 6 議題
 - (1) 協議事項
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応
 - (2) その他
- 7 会議の結果及び主要な発言
別紙のとおり

(午前9時27分開会)

○区長

おはようございます。

定例の教育委員会の開催に先立ちまして、教育委員会の各位には、お忙しい中を大変恐縮ですけれども、緊急に会議を招集させていただいたところです。

言うまでもありませんが、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状態が続いております。私ども目黒区も、私を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して、対応しているところでございます。

特に、教育分野では、ご案内のとおり、先月27日の夕刻に、安倍総理から、全国一律の学校等の休校の要請がありました。率直に言って、私も含めて、この要請に驚き、対応に追われて今日まできております。本区の対応としては、昨日は、午後を休校とし、本日から本格的に休校ということになりました。本当に急遽の状況ですけれども、教育長初め教育委員会事務局の皆さんに、適時適切な対応をいただいて今日を迎えていることに、お礼を申し上げたいと思っております。

皆さんのお手元の区報を通じて広く、改めて区民の皆さんに今回の全体像について、感染予防であったり、イベントの中止とか学校の休校について、様々特集を組んでお知らせをして、私ども、全力を挙げて感染防止、区民の生命を守る対応をしているところでございます。

今日のこの会議の目的ですけれども、今日までの私どもの対応、今後の進め方について、教育委員会の皆さん方にご説明をさせていただいて、区長である私と教育委員会の皆さんとの情報の共有を図って、区内のお子さんたちの健康をしっかりと維持していくことが最大の目的でございますので、どうぞそういった点で、積極的なご論議をお願い申し上げたいと思います。

それでは、早速ですが議題に入りたいと思います。

今申し上げたように、新型コロナウイルス感染症への対応について、それぞれの担当部長から説明を願いたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○説明者

(資料により説明)

- 区長 ありがとうございました。
 それでは、一括して、順次ご質疑をいただければと思います。
 ご質疑等、意見、要望を含めてお願いいたします。
- 委員 今、恐らくいろいろなところで問題になっているのは、学校閉鎖が行われていることです。今現在、第3期の感染拡大期になっているのですけれども、この感染拡大期には、積極的學校閉鎖というのは、外国の例ですとか過去の新型コロナウイルスのときの対応の中で、効果があると言われていています。文献もあります。ですから、私は積極的學校閉鎖というのは、非常にいいことだと思っています。
- ただ、10年ぐらい前と今の状況の違いというのは、多くのお母さんが外に出て仕事をしている。それが、過去の例と違うところです。それが、今、問題になっている。そうすると、残った子どもたちを、例えば、あるところでは学校で預かるとか、いろいろなことをしています。
- 新型コロナウイルスの感染防御の中で何が必要かという、いわゆる接触感染と飛沫感染の防御です。空気感染ではないのです。そうすると、病院では患者さんと接する際マスクをして、ガウンを着て、ゴーグルかけて、いわゆる完全な防御をする。ただ、飛沫感染の予防というのは、そんなに怖くないのです。いわゆる1メートル以上離れてマスクをしていれば、大体飛沫感染の予防にはなる。問題なのは、接触感染予防です。例えば、机を1メートル50センチぐらい離してマスクをしていれば、飛沫感染予防については、十分ではないかと思います。問題なのは、実は、接触感染予防です。手洗いです。
- ここには、手洗いの図があるのですけれども、実は流水と石けんによる手洗いというのは、過去15年ぐらい前にCDC（米国疾病要望管理センター）が出したのは、30秒から60秒の手洗いです。30秒から60秒の手洗いに、アルコール消毒が匹敵するのです。実際には、30秒から60秒の手洗いというのは病院でもしていないのです。病院の職員がやっている手洗いというのは、平均すると10秒ぐらいです。ですから、流水と石けんの手洗いで、10秒か15秒やっても、それはあまり効果がないというか、いわゆるエビデンスがないのです。
- 手洗いには、日常的な手洗いと衛生的手洗いと手術手洗いと3種類あるんです。そのうち、その衛生的手洗いが、新型コロナウ

イルスの予防になるんです。だから、日常的な手洗いというのは、予防には余り意味ないのです。そうすると、衛生的手洗いは、30秒から60秒以上やらないと効果が出ていない、エビデンスがない。だから、病院ですとかそういうところでは、もう今、流水石けん手洗いというのはしていないのです。全部アルコール手洗いなんです。アルコール手洗いですと、10秒か15秒ぐらいで十分なんです。

そうすると、接触感染予防には、やはりアルコールの消毒手洗いを積極的にすることが重要です。ですから、子どもたちに今、30秒、1分の手洗いしてくれといっても病院でもやっていないのは無理なんです。ですから、私は、今回の対策には、接触感染予防だとすれば、机を1メートル50センチ離して、マスクをして、そしてアルコール消毒液がちゃんと置いてあって、そこでアルコール消毒をする。そうすれば、かなり予防できるのではないかと思います。

それから一番最後にタオルと書いてあるのですけれども、これ、タオルはもう使いません。いわゆる使い捨てのペーパー手洗いなんです。それをすれば、お子さんたちを学校である程度みることもできるのではないかと考えています。ですから、今、社会構造が、女性が職場にどんどん出ている状況なんで、その状況に見合った対応をしないと、恐らく失敗するだろうと思っています。

以上です。

○区長 大変貴重な意見、ありがとうございます。

お願いいたします。

○委員 ご説明ありがとうございます。

区民にとってやはり情報が少ないことが、一番不安な材料になると思いますので、こうやって3月5日に区報が出るとか、積極的に情報の発信をしていただけると、区民としては安心して生活できると思うので、その辺だけは、今後も引き続きよろしく願いいたします。

1点お伺いですが、今回、学校が休校になるということで、今日から学童保育が春休みと同様一日保育をしていただけるということで、本当に学童に預けて働いていらっしゃるお母さま方にとっては、安心できることなのですけれども、この辺りの人手や場所の確保などについては、十分に足りているのか、今日からスタートなのでちょっと分かりにくいところあるかと思うので、

教えていただけますか。

以上、1点です。

○説明者 学童保育クラブは、今回11時間開けることになるわけですが、職員は、一方で児童館を縮小するということがありますので、そういった応援体制を取りながら、現時点では何とか対応できております。

以上です。

○区長 私も明日、何か所か学童保育クラブを視察して、どのような様子か、子どもや職員の話も聞いてみたいと思っています。改善ができるところは、また所管部長と相談していきたいと思います。

○委員 ありがとうございます。

○区長 よろしいですか。

○委員 私は、いろいろとマスコミ等で、少し気を付けなさい、なるべく外に出ないようにという年齢に入っております。そういう意味では、今回のような区役所に出向くというときにも、なるべく人通りの少ないところを歩いてくるというような努力はしているつもりです。とにかく情報を集めるということで、ニュース番組を見る、パソコンでニュースを見る、新聞などで記事を読むという程度の情報を集めることで終始しておりますので、一般の区民の方々の不安と共通な部分を持っているというところで、不安は不安で解決の手段がないというのが現実でございます。

そういう意味でも、今回のような区報なり、ホームページなりを年配者が見られるように、いろいろな工夫をしていただく対応をお願いしたいというのが1つです。

それから、実は、今回の件で、区の対応の早さを経験しまして、ある新聞に出ていた記事を思い出しました。これは、宮城教育大学の小田先生という方が書かれた防災教育に関する記事です。その中に、非常にインパクトのあるこれからのいろいろな議論で考えていかななくてはいけないテーマだというのが、共に生き抜く力を身に付けさせるということ、これが防災教育の意義であるということ強調されておりました。そのことを目的としていく上で、防災教育の中身自体、それから先生方のそれを教える力、こういったものにもう少し力を入れていく必要があると、小田先生は言われていました。これを読んでいましたことで、今回の新型コロナウイルスの問題が出たときに、ある意味では、これはもう防災教育の最たるものであると認識しました。

そういう意味では、今回の件、区の皆さんがご努力されております。我々年配者も、何らかの形で応援をしていきたいと思えますけれども、こういった苦勞、それから努力というものを、やはり子どもたちにも何らかの形で伝え、子どもたち自身に考えてもらおう。そういう機会をぜひ、今後はそれをやっていかなければいけないということで、共に生き抜く力を身に付けさせる、まさに今の時点はそうではないかと思えます。ぜひそういうことをやっていきたいということで、これから教科書の議論などがありますので、そういった場面で、防災教育の一環として、今回のような、ある意味では人災ともいえるもの、それから天災ともいえるもの、こういったものに子どもたちがどう対処していくのかということ、一緒になって考えていきたいということ、改めて認識いたしました。

私の意見としては、そういうことでございます。

○区長 今、委員からは、防災教育の充実とホームページの改善というご要望をいただきましたので、引き続き教育委員会、ホームページの所管部長、よろしくお願ひしたいと思えます。

大変貴重なご意見、ありがとうございました。

よろしくお願ひいたします。

○委員 今回は、非常に緊急なことで、区長初め職員の皆様、迅速に対応していただいて、非常に大変だったと思えますけれども、目黒区民を守るということで、引き続きよろしくお願ひしたいと思えます。

私、今回、いろいろ報道ですとか今日のお話を聞いていて思ったこととしましては、1つは、先ほどの委員から、子どもさんは学校が休校になったけれども、やはり働いているお母さんが非常に増えているということで、私自身も、かつては働く母親で、学校ですとか学童保育、小さいときは保育園にお願いしていた身として、やはり学校が休校になって、保護者の方と家で過ごせるお子さんは安心ですけれども、そうでないお子さんもたくさんいらっしゃると思えますので、その辺の安全ですとか心のケアということが心配です。1つお聞きしたいことは、学校のほうで、教員の方はお休みになってしまうわけではないと思うんですけれども、個々のクラスのお子さんの動静というのをどのくらい把握されているのか、把握しようとしてされているのかということの実態をお聞きしたいと思います。つまり、クラス30人なら30人お子さん

がいらして、そのうち、誰々と誰々はおうちで過ごしているけれども、誰々は学童保育に行くとか、学童保育に入れないで家にぼつんという子はいないかとか、そういったことを具体的に把握されているのか、把握しようとしている努力をされているのかということを確認したいというのが、1つです。

それと、お子さんにとっては、唐突に学期が終わってしまって、次にまたクラス替えをして新学期ということになると思いますけれども、そのつながりというか、その辺をお子さんが戸惑わないように、ぜひ工夫をしてあげていただきたいと思ひまして、未消化の部分の学科というのがあると思うのですけれども、単に宿題をたくさん出して、やってきなさいということでは、子どもさんはもう、なかなか学習が進まないと思ひますので、その辺の工夫をぜひしていただきたいと思うのですが、どのように考えていらっしゃるかということを確認させていただければと思ひます。

○区長

2点、教育委員会ということなので。

○説明者

1点目の個々のクラスの動静の把握ということで、それぞれ学校によって状況は違うと思っております。こちらで全校の状況を把握しているわけではございませんが、学校のほうでは学童保育クラブに誰が通っているかというのは、連携してやっていますので、担任のほうは学童保育クラブに通っている子は知っている。ただ、それ以外の子についての把握ということについては、確認できておりません。学校によっては、今後家庭への、例えば電話連絡をしながら確認をしていくという学校もありますので、そういったものを共有しながら、今度金曜日に合同校長会がありますので、そのときに、その把握の仕方等についても、共通理解を図って進めていきたいと考えております。

また、2点目でご指摘があった新学期へのつながりということで、各学校では、この後の教育委員会でも報告させていただきますけれども、子どもたちに家庭で取り組む学習を示して取り組んでいただいているところがございます。そのことにつきましても、また不足な点がありましたら、今週末の合同校長会で、共通理解を図って進めていこうと考えてございます。

以上でございます。

○区長

はい、どうぞ。

○委員

どうもありがとうございます。

ちょっと思い付きに近いのですが、例えば、学校のクラ

スの担任の先生が家庭訪問をしてお子さんの様子を見るとか、そういうことが実現できないかと思いましたが、併せてご検討いただければと思います。

ご参考までということで。

○区長 そういったご意見も校長会で伝えていただきたいと思います。
 教育長のほうからお願いします。

○教育長 ご承知のとおり、区立小・中学校については、本日から一斉臨時休業に入りました。国の要請では、昨日3月2日から休業の措置をとということでしたけれども、目黒区としては、児童・生徒への指導の徹底等の観点から、昨日3月2日は通常通りの登校及び午前授業、そして、午後から休業という対応を取りました。

極めて限られた時間の中で、ここまでは適切な判断ができていると考えております。これからは、子どもの健康保持や安全に配慮した居場所の課題がより前面に出てくると思われまますので、子育て支援部を初め区長部局との連携をより深めながら、一つ一つの課題に対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○区長 それでは、一巡しましたけれども、改めて追加で何か、よろしいでしょうか。

それでは、今、様々なご質疑、意見、要望をいただきました。特に、医学的な見地から、重要なお意見もいただきました。今後、いただいた意見を十分踏まえながら、さらに私どものこの取組のブラッシュアップをしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いしたいと思います。

最後になりますが、今、私ども、今まで経験をしたことのない、新型コロナウイルスの海を、目黒丸が闇の中で進んでいるような状況だと思います。その目黒丸の船長として、私もしっかりとかじ取り役になっていきたいと思っておりますし、先ほども緊急の庁内放送をさせていただいて、職員の皆さんにもご協力を、職務としては当然であります、改めてお願いしたところです。

ぜひまた教育委員会の各位におかれましても、この難局を協力して乗り切っていただくことに、一段のご協力をお願い申し上げて、会議を閉じたいと思っております。どうもありがとうございました。

(午前9時59分閉会)